



小学校シャッター事故 続報！

—西日本防災システム

2015 12 03

女児が**防火シャッター**に挟まれた事件の続報です！

横浜市の小学校(磯子区)で1日、防煙シャッターが落下し、これにはさまれた小学6年の女子児童が2か所の骨折を含む重傷を負った事故で、市教育委員会は12月2日に、担任教諭らのシャッター**操作にミス**があったと発表したようです。市教育委員会によりますと、火災を想定した避難訓練が終了した後、校内の清掃などを行う女性職員が降りていたシャッターを上げようとして、隣にある別のシャッターの巻き上げハンドルを誤って操作したようです。職員から「ハンドルが重くて回らない」と頼まれた30代の男性教諭が手伝い、両シャッター前の廊下に児童らを待機させてハンドルを3～4回ほど回したところ、隣のシャッターが落下し、待機していた女子児童がはさまれたようです。

シャッターは昭和55年に製造されたもので、ワイヤが切れていたようです。この情報から判断しますと、非常に単純な誤解が事故を呼んだこととなります。弊社も学校の防火戸、防火シャッターの点検にお伺いしますので、身を引き締めて作業をしたいと思えます。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

